



アメリカはなぜ9月が新学期なの

世界では、夏休みが終わった9月からが多い

日本は以前から、4月に新学期が行われてきました。しかし、世界各国をみると、それぞれの国の季節や文化などによって国ごとに新学期はまちまちなのです。その中で圧倒的に多いのは、やはり9月新学期です。フランス、イギリス、ドイツ、アメリカ、ロシアなど欧米各国では、7～8月の夏休みが終わったあと、9月から新学期に入ります。東南アジアではインドネシアが7月、タイが6月、シンガポールが1月、オーストラリアは2月からとなっています。

大学での9月新学期は検討中

4月が新学期というのは、世界中でわずか日本など5か国です。日本でも、これまで何回か「9月新学期」論が出て会合がもたれました。小・中・高校については、まだ、その時期ではないという意見が強いのですが、大学はさしつかえないのではという人がふえています。その理由の一つは、留学する場合や留学生を迎えるとき、日本の4月新学期は時期がずれていて教育が受けにくい、教育の国際化から好ましくない、という事実があるからです。この問題は、これからも議論が重ねられ、新しい方向が打ち出されるかもしれません。（監修・保岡 孝之）

